

There was an opening.

まず、始まりがあった。そこからエコーが飛び出した。そのスペースはとても巨大で終りが見えないほどだった。空気は親しんでいたものと違ったが、なぜか居心地の良さを感じた。どうやってここにたどり着いたのか、記憶は何も覚えてくれなかった。やがて古いグラフィティが施された壁を見つけた。書かれていたのは普段使う言葉では無いようだが、定かではなかった。リズムがあり、歌い、またはドラムで奏でるようだった。これこそが始まりであり、私が何かの中にいるという確信だった。この反復を続ければ、正体がいずれわかるかもしれない。

MAW

MAWはマイクロホン対応のオーディオワークステーションです。詩のようなツールでもあります。XLRシグナルを好みますが、一般的な1/4インチの楽器入力も接続できます。サチュレート、リバーブ、ディレイ、フランジャー、フェイザー、オクターブシフトといったエフェクトでシグナルを反転させ、3つのフットスイッチで制御が可能です。自分だけのノイズを作り出せる SEND/リターンも搭載。そして便利に使用できる複数の出力と、エクスプレッションコントロールで仕上げています。では詳細をみていきましょう。

MAW starts with an input jack.

MAWのXLR入力はマイクロホンなどの接続に対応します。XLRへ接続するとPADスイッチとINPUTノブが有効になります。PADスイッチとスイッチを上にするると20dBのシグナルが取り除かれます。INPUTノブはマイク用プリアンプのボリュームを設定します。

The next section is SATURATION.

SATURATEセクションはSATURATEフットスイッチで有効になります。有効時はBLENDノブでクリーンブーストとディストーションディストーションのブレンド比を設定します。左がクリーンブースト、右がディストーションを強調します。TONEノブはSATURATEに効くローパスフィルターで、左でダークなトーン、右でよりブライトになります。VOLUMEノブは全体のマスターボリュームとなります。

The next section is EFFECT A.

フットスイッチAでエフェクトAが有効になります。MIXノブはドライとエフェクト音のミックスを設定し、100%ウェットまで設定可能です。CTR1とCTR2はロータリースイッチで選択するエフェクトによりパラメータが変わります。

- » Octaves: CTR1でローオクターブのボリューム、CTR2でアップオクターブのボリュームを設定。
- » Phaser: CTR1でレート、CTR2でデプスを設定。
- » Short Delay: CTR1でディレイタイム (250msまで)、CTR2でフィードバックを設定。最大では無限にループし、発振はしません。
- » Reverb 1: ショートリバーブ。CTR1でイニシャルフィードバックを設定、残響に存在感を与えます。CTR2でリバーブトレイルの長さを設定。
- » Reverb 2: ロングリバーブ。CTR1でプリディレイ、CTR2でリバーブトレイルの長さを設定。

After EFFECT A, your signal goes to the SEND jack.

エフェクトAの後はSEND/リターンセクションへ送られます。通常XLRマイクを繋がないエフェクトを、このSEND/リターンに繋ぐことでマイクで使用可能です。外部エフェクトのSENDから外部エフェクトの入力へ、出力からRETURNへ繋がります。接続がない場合はエフェクトAはそのままエフェクトBへ送られます。

The next section is EFFECT B.

フットスイッチBでエフェクトBが有効になります。MIXノブはドライとエフェクト音のミックスを設定し、100%ウェットまで設定可能です。CTR1とCTR2はロータリースイッチで選択するエフェクトによりパラメータが変わります。

- » Rotary: シグナルをハイとローでスプリットします。CTR1でローに適用されるトレモロのレート、CTR2でハイに適用されるトレモロのレートを設定。
- » Flange: CTR1でレート、CTR2でデプスを設定。
- » Long Delay: CTR1でディレイタイム (1000msまで)、CTR2でフィードバックを設定。最大では無限にループし、発振はしません。
- » Reverb 3: シマーを備えたショートリバーブ。CTR1でイニシャルフィードバックを設定、残響に存在感を与えます。CTR2でリバーブトレイルの長さ追加のシマー効果を同時に制御。
- » Reverb 4: Long ダークなボイスのロングリバーブ。CTR1でプリディレイ、CTR2でリバーブトレイルの長さとおろ/ローミッド帯をブーストし、よりダークな残響へ変化。

*MAWはプロセッサの都合上、設定によって入力がないときでもノイズが目立つ場合があります。その際は以下の設定をお試しください。
・フェイザーやフランジャーなどLFOを使ったプログラムを選択時は、チャンネルがオフでもノイズが目立つ傾向にあります。チャンネルを使わないときはリバーブやディレイのプログラムを選択してください。
・使用していないチャンネルはミックスを最小へ下げてください。



VOCAL SLAP + REVERB

A classic slap-back delay from fx bank A suited perfectly for vocal doubling. Hold down the B foot switch for a few moments at a time to engage the momentary-function for splashes of reverb from fx bank B that remain in the trails of the buffer. Use the saturation section to dial in some heavy and bright distortion to taste. Hear this at 4:10 in OBNE Presents: Dan Explains It All: MAW



SNARE DRUM VERB+PHASE MOTION

Fun with close-mics, let the phaser from fx bank A add subtle motion to each attack of the snare and get drippy with the long reverb of fx bank B. Leave the saturation section off to hear the clean signal. Hear this in practice at 7:05 in OBNE Presents: Dan Explains It All: MAW



Finally, we're at the OUTPUT.

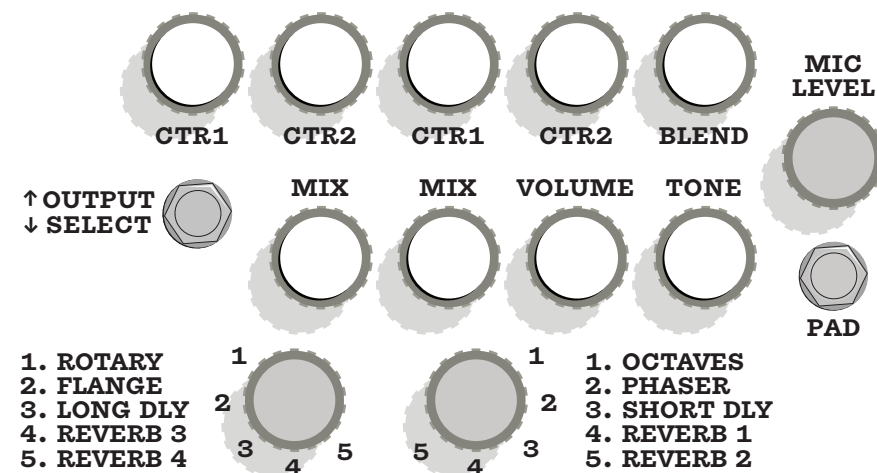
OUTPUT SELECTトグルスイッチでXLRまたは1/4インチからメインで使用したい出力を選択します。DRY OUTはSATURATIONセクションのアウトから直接接続され、ドライとウェット音を独立して取り出してセットアップに合わせて微調整できます。

EXP AとEXP Bジャックは各パラメーターをエクスプレッションから制御に使用します。EXP AはエフェクトAのCTR2、EXP BはエフェクトBのCTR2を外部よりコントロールします。

NOTE: フットスイッチは踏み方によりラッチ/モーメンタリーでの動作を使い分けられます。短くタップするとラッチ動作、ホールドするとモーメンタリーとなり、押し続ける間だけエフェクトが有効になります。

ALSO NOTE: MAWのエフェクトはトレイルが有効です。リバーブやディレイは残響が続く限り、エフェクトをオフにしても自然に残り続けます。これを利用して、ディレイのフィードバックを最大にすればマイクローバーのようにも使用が出来ます。

YOUR ARCHETYPE





• 9VDC 2.1mm negative center pin adapter | 210 mA draw. | XLR input impedance: 10k Ω | XLR output impedance: 100 Ω | inst input impedance: 470k Ω | inst output impedance: 470 Ω
oldbloodnoise.com | @oldbloodnoise | youtube.com/oldbloodnoise | blood optional, noise required. | come find us. | 2021 all rights reserved

